

《拓の会ニュース》

Vol.44

■拓の会例会予定（3月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

1G	■日 時:3月19日(火)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:社長の役割とは何ぞや? ■話題提供者:㈱ミドリ機材 代表取締役 小野寺 慎吾 氏
2G	■日 時:未定 ■会 場:未定	■テーマ:未定 ■話題提供者:未定
3G	■日 時:3月19日(火)19:00~21:00 ■会 場:未定	■テーマ:未定 ■話題提供者:未定
4G	■日 時:3月14日(木)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:役員報酬と税金の関係 ■話題提供者:㈱安藤建設 代表取締役 岡村 正治 氏
5G	■日 時:3月22日(金)19:00~21:00 ■会 場:十勝ダイニング ふる屋	■テーマ:今年度の振り返り、次年度の活動計画 ■話題提供者:参加者全員
6G	■日 時:3月26日(火)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:2024年度の活動について ■話題提供者:参加者全員
7G	■日 時:調整中 ■会 場:折笠農場またはYoutube Live	■テーマ:肥料・農薬を一切使わない自然栽培とは? 折笠農場の挑戦(北海道 十勝 幕別町) ■話題提供者:㈱折笠農場 代表取締役 折笠 健 氏
8G	■日 時:3月12日(火)18:00~20:00 ■会 場:びっくりドンキー 柏林台店	■テーマ:2023年度を振り返って ■話題提供者:参加者全員
9G	■日 時:3月7日(木)19:00~21:00 ■会 場:御馳走屋むらさき	■テーマ:1年の活動を振り返って ■話題提供者:参加者全員
10G	■日 時:3月26日(火)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:事業内容から補助金・助成金に繋げる⑥ ■話題提供者:㈱あंक 代表取締役 瀬戸 のりこ 氏

■拓の会例会報告（2月）

<第1グループ>『侃々諤々』

記録：原田氏
 ■日 時：2月8日（火）18：30～21：30
 ■場 所：よつ葉アリーナ研修室
 ■参加者：15名
 ■テーマ：拓の会フォーラムに参加
 ■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

「明日への活力」～あなたのやる気をあげるものとは～をお題にディスカッションをしました。本業での成果・業績や社内でのコミュニケーション、プライベートの事など様々なモチベーションを上げる要素が語られました。共通して皆さん、モチベーションが成果に大きく左右される事を実感している様でした。自分自身のやる気、チーム・組織としてのやる気でアプローチの違いはあると思いますが、共通して未来志向である方がより継続性につながる様な気もしました。

普段のグループ例会とは違うメンバーとの議論も新鮮に感じましたし、ポスターセッションでも多くの方に1グループの概要をご覧いただきました。来期に向けての「活力」になる拓の会フォーラムになったのではないかと思います。



<第2グループ>

『多様な労働環境・働き方を知り、考え、学びあう』

記録：井上氏
 ■日 時：2月28日（水）19：00～21：00
 ■場 所：同友会事務所
 ■参加者：7名
 ■テーマ：3月例会に向けて・
 カードゲームを通じたコミュニケーション
 ■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

まず最初に3月例会の予定について説明をした後、カードゲームを行い、メンバー間のコミュニケーションを図りました。最初のカードゲームは「アンガーマネジメント」。毎年1回は例会中に開催していますが、正直これだけで2時間は軽く超えるものです。1つの題目について自分の怒りの点数を他の方々が当てるといった内容です。自分が思うことと他人が見てる自分というのはかなり違うことに気づきます。次に行ったカードゲームは「はあっというゲーム」。様々なシチュエーションに対して声と表情だけで、相手に伝える演技力と想像力を働かせるゲームです。これも2時間では足りない内容です。どちらも楽しめることができましたので今後も定期的に関わりたいと思います。なぜなら「はあっというゲーム」はその3まで用意しているからです……。



《拓の会ニュース》

Vol.44

■拓の会例会報告（2月）

<第3グループ>『とかちの魅力を考える会』

記録：津田氏

■日時：2月8日（木）18：30～21：30

■場所：よつ葉アリーナ研修室

■参加者：7名

■テーマ：拓の会フォーラムに参加

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

拓の会フォーラムへ参加させていただきました。今年は各グループで作成したポスターを使ってPRするというので、過去お店に伺った写真をたくさん掲載し、3グループらしい楽しい雰囲気を出しました。写真にどこのお店や企業が掲載するともっと良かったという意見もありましたので今後の参考にしたいと考えております。他グループも個性が出たポスターを作成しており取り組みの内容が印象的でした。ディスカッションでは「明日への活力」というテーマで各テーブルで行い様々な意見がありましたが、もっと拓の会がどのように仕事や私生活に役立ったり、役立てているのか他グループの方に質問をしたら良かったと個人的に思いました。次年度も楽しみにしたいと思います。



<第4グループ>『会計・財務の超初級』

記録：藤森氏

■日時：2月8日（木）18：30～21：30

■場所：よつ葉アリーナ研修室

■参加者：10名

■テーマ：拓の会フォーラムに参加

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

2月例会は『拓の会フォーラム』に参加する事としました。70名近くの参加者の内19名が拓の会初参加者とお聞きしました。ポスターセッションと言う初めての試みを通して、たくさんの方が『拓の会』第1グループから第10グループまで知ってもらえる良い機会になった事は間違いないと思います。私も参加しているグループ以外はどのような活動をしているかを、あまりわかっていなかったのを知ることができました。今回のグループも趣向を凝らして、見応えのあるものやQRコードを活かしたものがあり、ハイテクなポスターに時代の流れを感じました。ともあれ、長きにわたり愛されている会なんだな～と年数の浅い私には羨ましくも思えましたし、拓の会に参加出来て良かった…と考える時間でした。うちのグループも立ち上げてから3年になり、思考錯誤の月例会で進んでおりますが、どこかで皆さんのお役に立てることが出来ればと考えております。



<第5グループ>『持ち味を活かす職場づくりを考える』

記録：及川氏

■日時：2月8日（木）18：30～21：30

■場所：よつ葉アリーナ研修室

■参加者：7名

■テーマ：拓の会フォーラムに参加

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

拓の会フォーラムに参加しました。ディスカッションのテーマは「明日への活力～あなたのやる気を上げるものとは～」でした。パネラーの方の話もですし、グループワークでもそれぞれの話がたくさん出て面白かったです。今年の5Gのテーマの持ち味とリンクしていて、その人のやる気になるものを聞いたら応援したくなるし、疲れているときにはそっとプレゼントしたくなったり、同じものだったら親近感がわいたりするし…人に興味関心を持つことの大切さを知りました。また【自分】をまず大事にしないと【他人（職員や家族）】は大切にできないな…と再確認。ポスターセッションも最高に良かったです。個性あふれていたし、伝えやすくなる。【見える化】は目に見えない想いだからこそ必要なんだな…とこちらも再確認。すごく勉強になる例会でした。



<第6グループ>『とかちカルチャー発信』

記録：山崎氏

■日時：2月8日（木）18：30～21：30

■場所：よつ葉アリーナ研修室

■参加者：4名

■テーマ：拓の会フォーラムに参加

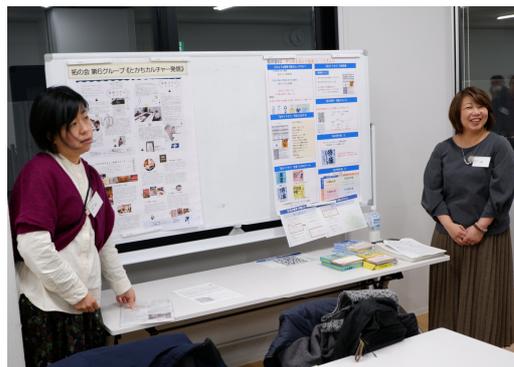
■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

拓の会フォーラムに出席しました。66名の参加者が一同に集まった会場は活気と迫力がありました。各グループのポスターも見ごたえがあり、私たち6グループのPRも積極的に声掛けしました。前日に完成した「熊コラム」も持参し配ることができました。1年間の活動をふり返ると、例会のみで終わらずにコラムを発行する、という目的が達成できたことが嬉しいです。形になったものが手元にあると活動の足跡ができたようで感慨深いです。次年度も会員を巻き込んだコラムの更なる発展を考えていきたいです。



【熊】コラムは、今回の拓の会ニュースと一緒に配信します！ぜひ一読ください！



《拓の会ニュース》

Vol.44

■拓の会例会報告（2月）

<第7グループ> 『LiveCommerce（ライブコマース）』

※諸事情により2月例会は3月に延期します。

★第7グループの過去の配信は、YouTubeチャンネル「十勝いいとも！」で視聴できます！

「十勝いいとも！」は十勝でおいしいものを作っている人々と、おいしいものが好きな人が、良い友となり、一緒においしさを楽しめる様に交流するチャンネルです。これまでにたくさんの企業さんを訪問し（時には緑豊かな畑の中まで車を走らせ…）、現場で熱い想いや魅力的な商品、こだわりの生産物を、時にユーモアを交えながら語っていただきました！ここだけの裏話や、思わずクスリと笑える場面もあります。十勝の魅力たっぷりのアーカイブをご覧ください！そしてこの機会にぜひ「十勝いいとも！」の登録をお願いします！



YouTubeチャンネルは
こちら↓



<第8グループ>

『気軽に話そう！あなたのマーケティング実践会』

記録：東山氏

■日時：2月8日（木）18：30～21：30

■場所：よつ葉アリーナ研修室

■参加者：12名

■テーマ：拓の会フォーラムに参加

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

18時半より、よつ葉アリーナ研修室でポスターセッションとして各グループの活動内容やPR、活動報告を行いました。参加した方々が他グループのポスターを見て、それぞれの活動内容を見たりグループの人と話しをするなど積極的な情報交換を行っていました。19時をまわり明日への活力～あなたのやる気を上げるものとは～をテーマにグループディスカッションを各テーブルで行い、その後榊澤・本屋さんの高橋さん、榊つながりの北村さん、榊友夢牧場の湯浅さん、榊谷工務店の谷さんの4名が登壇し、パネルディスカッションを行いました。各職種の視点や経営者さんの考え方などが聞けて、大変ためになりました。



<第9グループ> 『よろず見聞学（楽）』

記録：近藤氏

■日時：2月8日（木）18：30～21：30

■場所：よつ葉アリーナ研修室

■参加者：9名

■テーマ：拓の会フォーラムに参加

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

今回は、2月例会として拓の会フォーラムに出席しました。1年間の予定と毎月の例会感想をまとめた9Gのポスターを作成し、当日ポスターセッションを行いました。今年新設したグループでしたが来年度も継続しますので、今回のセッションを通じて、来年もよりたくさんの人に参加していただけることを期待しています。

また、2月はもともと施設見学を予定していましたが、拓の会フォーラムの会場であるよつ葉アリーナの見学を行いました。

今回は、飲食店にて1年の振り返りを行う予定となりました。



<第10グループ> 『補助金・助成金を考える』

記録：米道氏

■日時：2月8日（木）18：30～21：30

■場所：よつ葉アリーナ研修室

■参加者：6名

■テーマ：拓の会フォーラムに参加

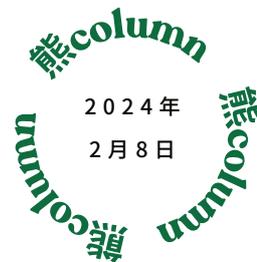
■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

今回は拓の会フォーラムに参加しました。10グループは補助金と助成金の違いやどのような種類があるのか、またメンバーがどの制度を利用しているかを描いたポスターを作成しました。ポスターセッションでは各グループのこれまでの活動実績を確認し、担当者から内容の報告を受け、それぞれのグループについて改めて理解することができました。またグループディスカッションでは、色々な意見交換ができ、各々考えをお聞きすることで非常に勉強になりました。



ここは、帯広市東2条にある中小企業家同友会とかち支部の一室。「とかちカルチャー発信グループ」のメンバーが、十勝のカルチャーってなんだ?!を語り合いました。ぼんばだ!? スイーツだ!? いやいや、やっぱり温泉でしょう!と盛り上がりコラムを書くことになりました。(なぜ!?)メンバーの個性溢れた自由すぎるコラムにしばしお付き合いください。



今月のテーマは・・・ 「クマ」



02 「山親爺」

熊column 熊column

松久 大樹

世の中の恐ろしいものを順に並べた「地震・雷・火事・親爺」というフレーズがあります。ここに登場する「親爺」が父親のことではなくクマのことである、と聞いたことはありませんか。私は長らくそう信じていたのですが、どうもクマのことを「山親爺」というのは北海道特有の言い回しで、一般的にはクマではなく父親や地域のボスのことのようにです。

山親爺というと連想するのが「笹の葉かついでシャケ背負って、スキーに乗った山親爺」という千秋庵のCMソング。すっかり有名になった歌ですが、そんなクマがいるわけもないながらよくぞ思いついたというものです。クマ・鮭・スキーというのが北海道のイメージだったということでしょうか。

東京に住んでいた大学時代、友人から「北海道出身なの!庭にクマとか出るの?」と訊かれることもありました。クマといえば北海道とされているようですが、実はクマとの遭遇事故が多いのは北海道よりも東北地方。岩手県の人「クマと言えばウチだろう」と思っているのか、いないのか...



01 「熊嵐 くまあらし」



熊column 熊column

山崎 美華

何気なく手に取ったこの本は父の本棚にあった。作者の吉村昭氏は証言と史実を周到に取材したノンフィクション、歴史小説を数多く執筆しています。舞台は大正4年12月 北海道苫前村三毛別(さんけべつ)で実際に起こった事件。冬眠の時期を逸した熊が、わずか2日間に村人7人死亡、3人が重傷を負ったドキュメンタリー。

冬眠に失敗した熊を「穴持たず」といい、非常に凶暴性が強くなるそうです。熊が人を襲う描写には文章ながら顔を背けてしまうほど。本書の内容も面白いのですが、私は倉本聰の書くあとがきが特に印象的でした。

「熊嵐」をラジオドラマにしてほしいという依頼があり事件現場へ向かったときのことが書かれているのですが地図を見ようと手帖を開いたとき「あつ!」と気が付きます。12月9日 事件が起きた日とまさに同じ日...。不可思議の一言では片づけられない出来事です。昔「土幌の三羽鴉(さんばがらす)」という折本の出版イベントを開いたとき、似たような体験をしました。そのエピソードはまた、何かの時に語りたと思います。



03 クマのプーさん

熊column 熊column 小野寺 慎吾

皆さんは熊と聞いてどのような連想をされるでしょうか。近年農家さんの畑や時には住宅街にまで現れるようになった野生の熊。凶暴で怖いイメージを連想される方が多いのではないのでしょうか。私自身は野生の熊に遭遇したことはありませんが、昔登山の途中で熊と思われる唸り声を聞いたことがあり、身震いをした記憶があります。一方でクマのプーさんやリラックマのように可愛らしいキャラクターのイメージもありますよね。

熊という単語を聞いて思い出すことは、幼稚園でのお誕生日会。その日はいつもよりおめかしをした我が娘、全園児を前にして同じ月生まれの園児が娘を含めて数名がステージに登壇。ステージ上では先生が園児に質問コーナー。皆さんは将来何になりたいですか～？サッカー選手～！パン屋さ～ん！プリキュア～！会場からは「なれないよ～！」のツッコミで終始和やかな雰囲気。そして我が娘の順番が、言った答えは「熊です！」熊……クマ……？ざわつく会場…娘はクマのプーさんが好きだったので、園児たちは凶暴な熊を想像したのかもしれませんが。今年とある武道（格闘技）の世界チャンピオンになった我が娘。もしかしたら熊と闘ってもいい勝負になるのだろうか……



04 クマくま熊

熊column 熊column 佐々木 けんいち

クマと聞くと気になることがある。最近のクマはあまり人を怖がらないのかも…と。学生の頃に知床五湖へ行くならクマよけの鈴は効果がないと聞いた。観光客が多くなり人間の痕跡が増え、人を怖がらないどころか寄って来る。ラジオのほうが効果あるよと。その当時は行く予定もなく知識として残っていた。その後、プライベートで写真撮影で山に入ったり、仕事柄、林業関係者と会う機会も多くなり、当時の記憶が蘇る。登山の好きな人にも聞いたことがあり「昔から山に入る人は持ち込んだものはすべて持ち帰る。」これを聞いて話が全部つながった。野生動物へのエサやりやごみを捨てない等もこれにつながっていると思う。

OSO18も最近射殺されたようだ（2023年7月末頃）。斜里町の街中に出たクマと同様に動物愛護団体からはクレームが来たようだ。地元民にとっては当然だと思うが、蚊帳の外からかわいそうと言うのは当事者じゃないからだろう。たまたま斜里町で仕事をする機会があり地元の人に話を聞いた。街中で撮影された有名なクマ2頭の写真は道の駅で見られるが、そこから目と鼻の先ほどの中心街である。逆にそこまで誰にも見つからずに来たなという場所だ。一度町に来たクマは山へ帰してもまた出てくるという。射殺も仕方なしと思うがいかがだろうか。

05 木彫り熊の100年

熊column 熊column

高原 淳



昭和40年代、どこの家にも木彫り熊があったと記憶している。置き場所は玄関かテレビの上が定番だ。北海道土産の木彫り熊がなぜ北海道民の家庭に置かれているのか。その訳はよくわからないが、昔は当然のことと受け入れていた。昭和の家には「木彫り熊」「ペナント」「スノードーム」が必ずと言ってよいほどあった。

木彫り熊は大正13年、徳川義親の提唱により八雲村（現八雲町）の徳川農場で試作されたのが始まりだ。義親が欧州旅行の際、スイスのベルンで買い求めた木彫り熊がヒントとなり、開拓民の副業となったのである。

木彫り熊のもうひとつのルーツは旭川。昭和元年、アイヌの松井梅太郎が熊を彫り始め評判となった。昭和40年代の最盛期には、旭川で1000名もの木彫り熊職人がいたというから驚きだ。

八雲では「農民の生活手段」として、旭川では「アイヌの熊への畏敬と伝統の木工技術」から木彫り熊が誕生した。一時は隆盛を極めた北海道の木彫り熊。この文化を絶やしてはいけないと、若手作家が増え始め、近年のブーム再燃につながっている。現代の若手作家たちは定番ポーズの「這い熊」を彫って技術を磨きつつ、型にとられないさまざまなポーズの熊を彫り、表現領域を広げている。

「うちの会社も話題にしてほしい」
というご依頼、お待ちしております！(^^)/
tch20230720@gmail.com

編集・発行
とかちカルチャー
発信グループ

